

市民説明会の報告

平成 29 年 8 月 28 日から 5 日間にわたって開催した「複合新庁舎に関する市民説明会」について、参加人数や主な意見等について次のとおり報告します。

1 開催日時、場所及び参加人数

日 時	場 所	参加人数
平成 29 年 8 月 28 日（月） 19:00～20:20	加音ホール 会議室 1～3	84
平成 29 年 8 月 29 日（火） 19:00～20:20	始良公民館 会議室 1～3	49
平成 29 年 8 月 30 日（水） 19:00～20:30	重富地区公民館 大会議室	51
平成 29 年 8 月 31 日（木） 19:00～20:00	山田地区公民館 大会議室	22
平成 29 年 9 月 1 日（金） 19:00～20:40	蒲生公民館 文化ホール	67
参加人数合計		273

2 会場ごとの主な意見等

平成 29 年 8 月 28 日（月）午後 7 時から午後 8 時 20 分 於：加音ホール 会議室 1～3 参加人数 84 人（外報道 1 人）	
番号	意見項目
1	本庁方式、分庁方式のメリット・デメリットの具体について教えて欲しい。
2	教育部、農林水産部、農業委員会を本庁に集約すれば、本庁が混雑し駐車場が不足するのではないかと。
3	教育部を加治木庁舎に残して欲しい。職員が減るとまちが疲弊する。
4	庁舎の供用開始予定時期における人口等のシミュレーションの下に 3 地区とも計画を進めるべきである。
5	本庁舎は 60 億円と示されているが、各支所まで含めた全体の事業費はどれくらいかかるのか。その費用はどこから捻出するのか。
6	若い世代への周知、意見の集約を望む。
7	市役所庁舎の利用率が低いのはなぜか。また、利用率についてどのように捉えているか。
8	市役所庁舎の利用率が低いのは、市役所の業務について市民が知らないからではないか。業務、講座等 PR すべきではないか。
9	複合新庁舎建設検討委員会の 15 人のメンバーの中に加治木地区の議員が入っていないのはなぜか。今から入ることはできないのか。
10	加治木、蒲生両総合支所の行政機能や窓口機能について明文化すべき。

11	各部署の利用率について確認しているか。 また、市民アンケートにより事務所設置方式の方向性が見えることから、その結果について教えて欲しい。
12	17の校区コミュニティー協議会と複合新庁舎との関係性について考慮するとともに、校区コミュニティー協議会の意見を集約して欲しい。

平成 29 年 8 月 29 日（火）午後 7 時から午後 8 時 20 分

於：始良公民館 会議室 1～3 参加人数 49 人（外報道 1 人）

番号	意見項目
1	庁舎ができるのはいいが、色々な市民の要望がある。例えば、学校へのクーラー設置や国民健康保険料が高いなどがある。市民サービスの低下が起きるのではとの不安がある。
2	地域防災拠点施設とはどのようなものを考えているのか。
3	複合施設は、他市の事例のようなものを検討しているのか。
4	様々な機能を複合した場合、利用率の改善をどの程度見込んでいるのか。
5	公民館、高齢者福祉センターなどが分散している方が使い勝手が良いのではないか。
6	金額はあくまで概算であり、今後、額が変動するとの認識で良いか。また、合併推進債の利息を考えると、市の財政状況は悪化するのではないか。人口増加に比例して扶助費は確保されるのか。
7	本庁舎の建設費は 60 億円と示されたが、支所も含めた全体の事業費を示されたい。建設単価 50 万円／㎡は高額である。また、東京オリンピックや鹿児島国体もあり、これ以上に費用がかかるのではないか。
8	支所の整備事例に挙げられた施設は、始良市と同程度の人口規模、財政規模の自治体として参考にしたのか。見た目だけの参考なのか。
9	自分と同年代の人が会場にいない。我々のような若い世代は、この時間に子供をおいて参加できない。そういう方の市庁舎に関する意見をどのように吸い上げるのか。
10	建設費用が高いと思う。他、付帯工事等と支所まで合わせると 100 億円を超えるのでは。
11	分散してある高齢者福祉センターや働く女性の家の取扱いは。全部集めると逆に利用しづらいのではないか。
12	複合新庁舎建設検討委員会委員は、もっと若年層や子育て世代等色々な人から意見を集めるべきではないか。無駄なお金の使い方をしないためにも、より広く意見を求めるべきである。

平成 29 年 8 月 30 日（水）午後 7 時から午後 8 時 20 分 於：重富地区公民館 大会議室 参加人数 51 人（外報道 2 人）	
番号	意見項目
1	外部検討委員会から、現在の本庁舎の敷地が最適地であると中間報告されているが、本庁舎に入れる機能、必要な平米数等を検討した上で現在地に決定したのか。敷地に不足はないか。
2	複合新庁舎建設事業に関する情報がホームページに掲載されているが、ページまでの行き方がわかりづらい。広報紙等でも、ホームページ上の掲載場所をわかりやすく伝えてほしい。
3	地域防災拠点として、災害に強い庁舎とは具体的にどのようなものを考えているか。
4	行政機能以外の機能としてどのようなものを考えているか。
5	相談スペースがなくプライバシーが守られていないので、相談スペースをぜひ確保していただきたい。
6	災害対策基本法、国民保護法に則り、災害時の司令塔として最後まで残る市庁舎にしていいただきたい。地下に核シェルターが必要ではないか。
7	重富地区は住民が増えてきており、用途地域の第一種低層住居専用地域を狭め、ある程度多様な用途が混在するまちづくりを望む。
8	計画を立てる上で、市民アンケートやパブリックコメントにより色々な意見を聴くことは必要。このとき、外部検討委員会の審議と市民の意見のどちらかが先行するのか、あるいは同時進行なのか説明を求める。
9	新庁舎ができるまでの間、災害があった場合どのような体制をとる検討をしているのか。検討していないのであればそれまで含めて検討しておく必要がある。始良庁舎本館は確実に倒壊する。耐震補強はとてもできないほど躯体の状態は悪い。早急に建て替えてほしい。
10	震度 6 弱に耐えられえる建物を目指しているとのことだったが、熊本地震の最大震度は 7。6 弱の設定の根拠は、また、6 弱では、弱いのでは。
11	新庁舎の建設に異論はない。本庁と別に蒲生と加治木の総合支所の整備も控えているが、今後、平成 29 から 30 年度にかけて、調査、市民の座談会などを実施し、そこでの意見等を加味しながら蒲生と加治木の地域の拠点としてどのような機能を持たせた庁舎にするのか、十分に検討してほしい。
12	現在の本庁敷地でぜひ作ってほしい。イオンもでき、帖佐駅からタクシーでワンメーターである。始良公民館や図書館駐車場などを考えず、そういう便利な場所、今の本庁舎を壊してそこに良い建物を造っていただきたい。

13	本庁舎の敷地は現在地で決定したとなっているが、この各種制限で 10 ポイントの差があるが、具体的な評価内容はどのようなものか。
14	庁舎を建てる場所（敷地）は初めから絞られていたのでは。
15	工期について、完成まで5年の期間を要するのは時間をかけすぎではないか。もっと早くすべきと考える。説明にあったように、頑固に耐震を意識して、強固な建物を造っていただきたい。
16	コミュニティーFM がイオンタウンのスタジオから発信されているが、本庁舎にあってもいいのではと思う。災害に軸足を置いた一面もあるコミュニティーFM であるとすれば、危機管理課に隣接した場所にあるのも気が利いていておもしろいのではないか。
17	現在、ハード面での話をしているが、運用面についても重要である。機能、運用の話について市民が意見を述べる場はパブリックコメントしかないのか。今後、説明会は実施しないのか。ないということであれば、どこに意見を言えばよいか教えてほしい。
18	合併推進債の期限と限度額を教えてください。
19	本庁舎の建設費が 60 億円となっている。これは十分に節約した上での金額なのか、あるいは人口割にしたらこの程度だろうとのたたき台としての金額か。

平成 29 年 8 月 31 日（木）午後 7 時から午後 8 時

於：山田地区公民館 大会議室 参加人数 22 人（報道なし）

番号	意見項目
1	現庁舎敷地での建替えとのことであるが、山田口の辺りに庁舎ができたかと思っていた。現庁舎敷地の地盤等の話も含め、新庁舎は何階建ての予定か。錦江湾で地震があった場合それに耐えられるのか。
2	今の本庁舎は駐車場があまりない。市役所に用がない人が停めている様子もあることから、他市の駐車場の運用状況等もみながら、市役所に用事がある人が困らないように対応をお願いしたい。
3	市が複合新庁舎を造ることは賛成だが、坪 150 万円の単価については高いと感じるので、市民にわかりやすい説明を求める。基本構想が一番大事だと思う。年度内にこだわらず、来年度まで繰り越す考えはないか。
4	地域が合併による不便を感じないよう、十分な説明を望む。今、山田出張所で色々な証明の発行を受けられない。本庁に足を運ばないための対応はどうなっているのか。住民票の交付くらいで、あとはほとんど本庁まで足を運ばないとできないと聞いている。市民の利便性の向上を十分に検討いただきたい。

平成 29 年 9 月 1 日（金）午後 7 時から午後 8 時 於：蒲生公民館 文化ホール 参加人数 67 人（外報道 1 人）	
番号	意見項目
1	新庁舎、防災拠点の整備については急務ということで理解している。多極ネットワーク型コンパクトシティーを目指すのであれば、本庁 1 極集中ではなく、ある程度分散する方法について検討いただきたい。蒲生地区で商売をしている人はそれが一番心配である。
2	本庁舎は現在の本庁舎敷地内に整備するとあるが、防災拠点として、交通事情が激しく、駐車場もない都市のど真ん中に本庁機能を造ることについて防災の視点はあるか。防災拠点というのであれば、誰もがどこからでも駆けつけられるというのが根本ではないか。
3	老朽化しているから建て替えるというのはわかる。そこを否定しようとは思わないが、考え方が逆では。推進債に合わせるために計画を合わせたように思える。それぞれのまちごとに行政の方策を示されたい。このようなことを検討する委員会を早急に立ち上げ、根本から考えてもらわなければならない。より幅広い発想を取り入れて欲しい。
4	住民の生命と財産を守るために、災害時の司令塔となる建設計画には賛成である。想定外の災害、事件に平時から備えておくことこそ防災拠点である。
5	蒲生地区の住民は、蒲生庁舎である程度機能が果たせる施設を造っていただきたい。乳幼児健診などもあるが、新庁舎（本庁舎）にできる市民のふれあいの場所には、蒲生からは行かない。
5	今日の説明会を地区の回覧で知ったが、月曜から今日までの参加人数と当初の参加予定人数を教えて欲しい。これから庁舎が建った時の借金を背負う若者世代の参加が少ない。この時間は子供がいる人は集まりにくいので、そういう人も集まりやすい時間を考慮いただきたい。
6	蒲生公民館が取り壊されると聞いている。機能を統合するにあたって、現在の公民館のような舞台を作っていただきたい。照明器具、客席の数、その他今この公民館にある機能を検討いただき、お知らせいただきたい。30 年度にいろいろ計画され、話をされると思うが、その際、各団体を呼んで、話を聞かせていただきたい。
7	防災拠点として 3 地区にどのような災害が発生し、どのような被害があるのかシミュレーションをしたのか。 また、現庁舎の課題で書庫等の不足とあるが、書類等をデータ化すればコンパクトな書庫にできるのではないか。

8	防災拠点の整備に重点を置いていることがわかった。私が考える市民サービスは何かをしてもらうということではなく、行政機能を失わないことだと思う。建物を上に伸ばすだけでなく、地下も検討してほしい。
9	多極ネットワーク型コンパクトシティーの実現に向けて、個人的には地下鉄が欲しいが、バス等の整備には京都の環状線を参考にされたい。この路線番号はこのルートしか走らないというのがわかり、このようなものを数路線整備してもらいたい。定額で3地区の拠点を周ることができるルートが良い。そういった具体性のあるものを提示してもらった方が皆、参考にできる。また、庁舎のバスターミナル化を提案したい。
10	地域のあり方を考えながら、行政が施策を打ち出していかなければならないと思う。大きなくくりで、中央部はどう発展させるか、蒲生はどう発展させる、加治木はどう発展させるかを示すべき。それに則っての庁舎建設ではないか。市民提案型として、一市民がいちいちこうしようとは言にくい。
11	新庁舎の建設でハード面の検討が中心となるが、親しみやすい場所を造るということで、壁をできるだけ少なくする、カウンターを低くするといった、ソフト的な要素も考えていただきたい。

以上